

授業科目	国際経済入門				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	EN21306J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP2-1 DP3-1 DP4-3			
担当教員	池口 功晃							
授業概要	貿易、地域統合、外国為替、国際金融、国際通貨、貧困問題、環境問題など、国際経済およびその諸問題について主要な論点を学びます。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際貿易の役割、国際収支の読み方、貿易政策・自由貿易協定(FTA 並びに日本の EPA)をめぐる問題を説明できる。 2. 外国為替相場を決定する要因、相場の変動が国内経済に与える影響を説明できる。 3. 通貨危機・金融危機がどのように発生するのか、日本にどのような影響を与えるのか説明できる。 4. 途上国の貧困問題や環境問題を説明できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	42	58	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)		10	26				36	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)		14	10				24	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)		14	10				24	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)		4	12				16	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
国際経済に関するさまざまな新聞・雑誌記事を理解できるようになる。				国際経済に関する基本的な知識を身に付け、説明することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	授業ガイダンス 国際経済とは何か			講義		該当部分の復習		50

2	貿易理論・世界と日本の貿易	講義	該当部分の復習	50
3	金融政策・財政政策	講義	該当部分の復習	50
4	貿易政策、世界の貿易体制、FTA	講義	該当部分の復習	50
5	地域統合、APEC	講義	該当部分の復習	50
6	閉鎖マクロ経済モデル	講義	該当部分の復習	50
7	開放マクロ経済モデル(1)	講義	該当部分の復習	50
8	開放マクロ経済モデル(2)	講義	該当部分の復習	50
9	為替レートの決定	講義	該当部分の復習	50
10	国際通貨、金本位制、ブレトンウッズ体制	講義	該当部分の復習	50
11	経済発展と経済開発、GDP 指標の限界	講義	該当部分の復習	50
12	世界の貧困問題と ODA	講義	該当部分の復習	50
13	貿易・地域統合・外国為替・貧困問題の主要トピックス	講義	該当部分の復習	50
14	地球環境問題と経済学	講義	該当部分の復習	50
15	総まとめ	講義	該当部分の復習	50
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	経済学の入門レベルの講義を履修しておくことが望ましいですが、授業を通して講義に必要な知識を随時復習していきます。			
テキスト	毎回、講義レジュメを配付します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	多和田真(2010)『コンパクト国際経済学』(新世社) 阿部顕三・遠藤正寛(2012)『国際経済学』(有斐閣)			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	普段から経済記事や経済ニュースを意識するようにしてください。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	小テスト、レポートの内容については、授業で指示します。			

